

# 第60回国民体育大会剣道競技結果

第2試合場			
確	本部記録	戦評	記録
認	宮本	矢部	米澤

25

( 成年男子 )

平成17年10月26日(水)		第38試合	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	3位決定戦	決勝戦	
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数	勝敗
安倍尚志	宮崎	氏名	山下	大重	今東	興梠	山本	2	4	×
		試合	1 反相 2 則殺 3 延回回	1 ㄐ反相 2 ㄨ則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 延回回	1 ㄐ反相 2 則殺 3 回回	1 ㄨ反相 2 則殺 3 一本勝 1 回回			
副審	東京	経過	3 延反相 2 則殺 1 ㄨ1回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3 延反相 2 則殺 1 ㄐ回回	3 ㄨ反相 2 ㄨ則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3	4	
河田清実 下島貴代一		氏名	内村	島村	深谷	栗田	濱崎			
時間		13分 45秒	5分 00秒	7分 42秒	4分 25秒	5分 00秒				

戦評

順調に勝ち進んできた宮崎対東京の一戦。先鋒戦、お互いに気合十分で見応えのある技の応酬になったが決まらず延長に入る。両者一步も譲らず白熱した一戦となったが、東京内村が宮崎山下を鏢競り合いで崩し、竹刀を落とす瞬間に引き面を決めた。次鋒戦は、東京島村が間合を詰めて技を出そうとするがそこを宮崎大重に小手を決められる。二本目は、東京島村が小手を打つが不十分となり、その瞬間、宮崎大重が引き面を決めた。中堅戦、東京深谷も間合を詰めて技を出そうとするが宮崎今東の手堅い守りを崩せず時間切れ。しかし、延長に入ると深谷の攻めで宮崎今東の手元が上がり深谷が小手を決める。副将戦、東京栗田は小手から面に出るところを宮崎興梠に出頭小手を決められる。しかし、東京栗田は鏢競り合いで、宮崎興梠の一瞬の気の緩みに引き面二本を決め勝負を決めた。大将戦、宮崎山本は鏢競り合いから引き面を決め一本勝。東京対宮崎は、期待通り観衆を引きつけた好試合であった。